

# 工 事 概 要

山田町では、東日本大震災によって約54万トンもの膨大な量の災害廃棄物が発生しました。本業務では、セメント工場や廃棄物処理場などで再資源化や焼却処理ができるように、処理・処分先の受入基準に合わせて破碎・選別処理を行います。

- 業務名称 山田地区災害廃棄物破碎・選別等（その2）業務委託
- 施工場所 岩手県下閉伊郡山田町船越
- 工期 平成25年03月01日～平成26年3月31日
- 委託者 岩手県
- 受託者 (株)奥村組・日本国土開発(株)・陸中建設(株)・吉川建設(株)・(有)佐藤建業  
特定業務共同企業体
- 業務内容
  - 仮置場 場内整備工 1式
  - 一次仮置場 粗選別・積込 1式
  - 二次仮置場 混合廃棄物破碎・選別工 1式
  - コンクリートガラ破碎・選別工 1式
  - 収集運搬工 1式
  - 環境モニタリング 1式
  - 廃棄物広域処理工 1式
- 委託数量 214,320t

# 工 程 表

平成26年3月末までの業務です。

	平成 25 年												平成 26 年		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
場内整備工															
一次仮置場															
粗選別工															
二次仮置場															
破碎・選別工															
二次仮置場															
コンクリートガラ破碎・選別															
収集運搬工															

# 位 置 図

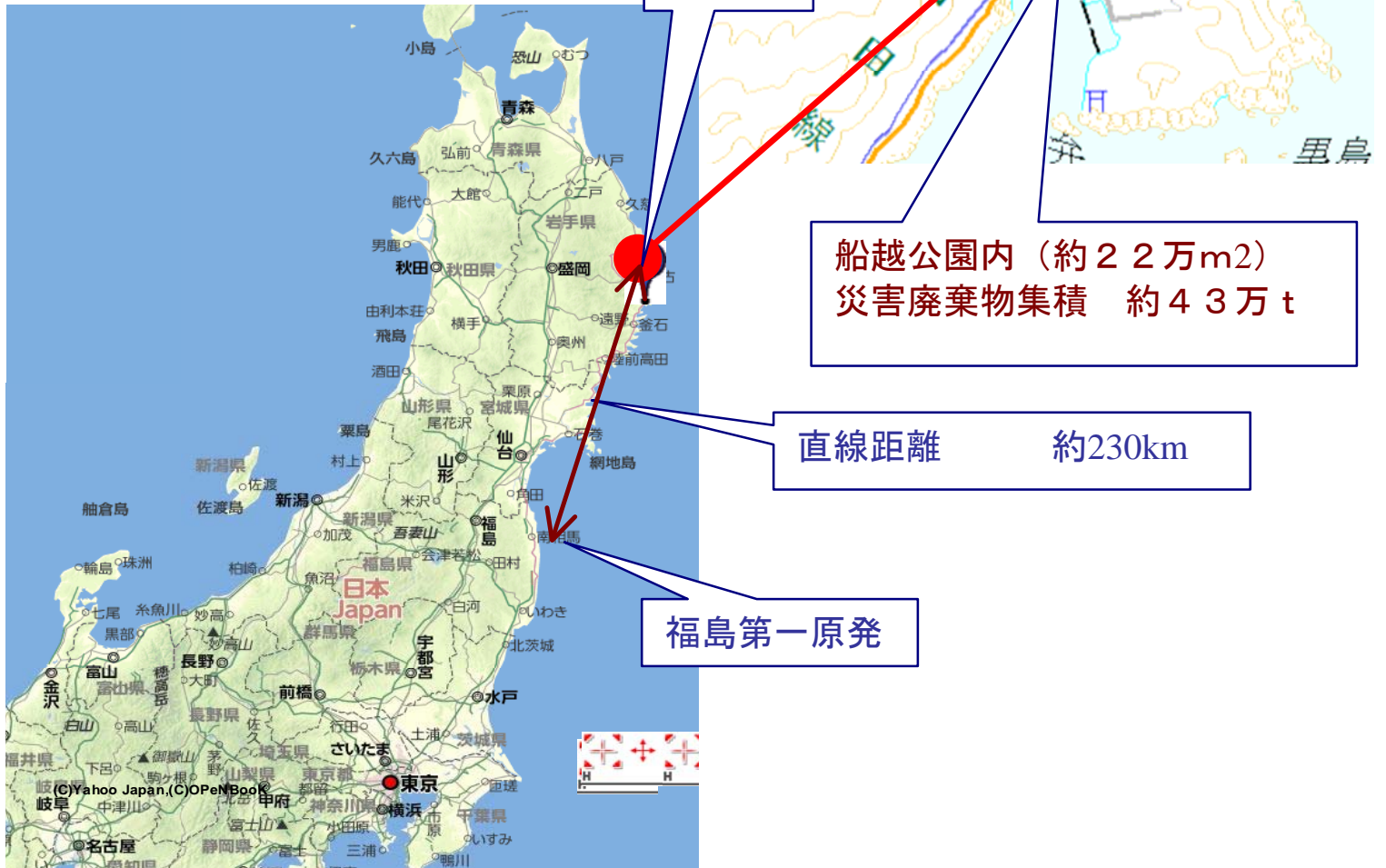


図1. 山田町の災害廃棄物仮置場



# 処理計画

仮置きされている災害廃棄物は、一次仮置場で粗選別をして大まかに分けられた後、二次仮置場に運搬されます。二次仮置場では、セメント工場や廃棄物処理場などで再資源化や焼却処理ができるように、受け入れ先の受入基準に合わせて、破碎機や選別機など特殊な機械を使って破碎・選別処理を行います。

## 業務範囲

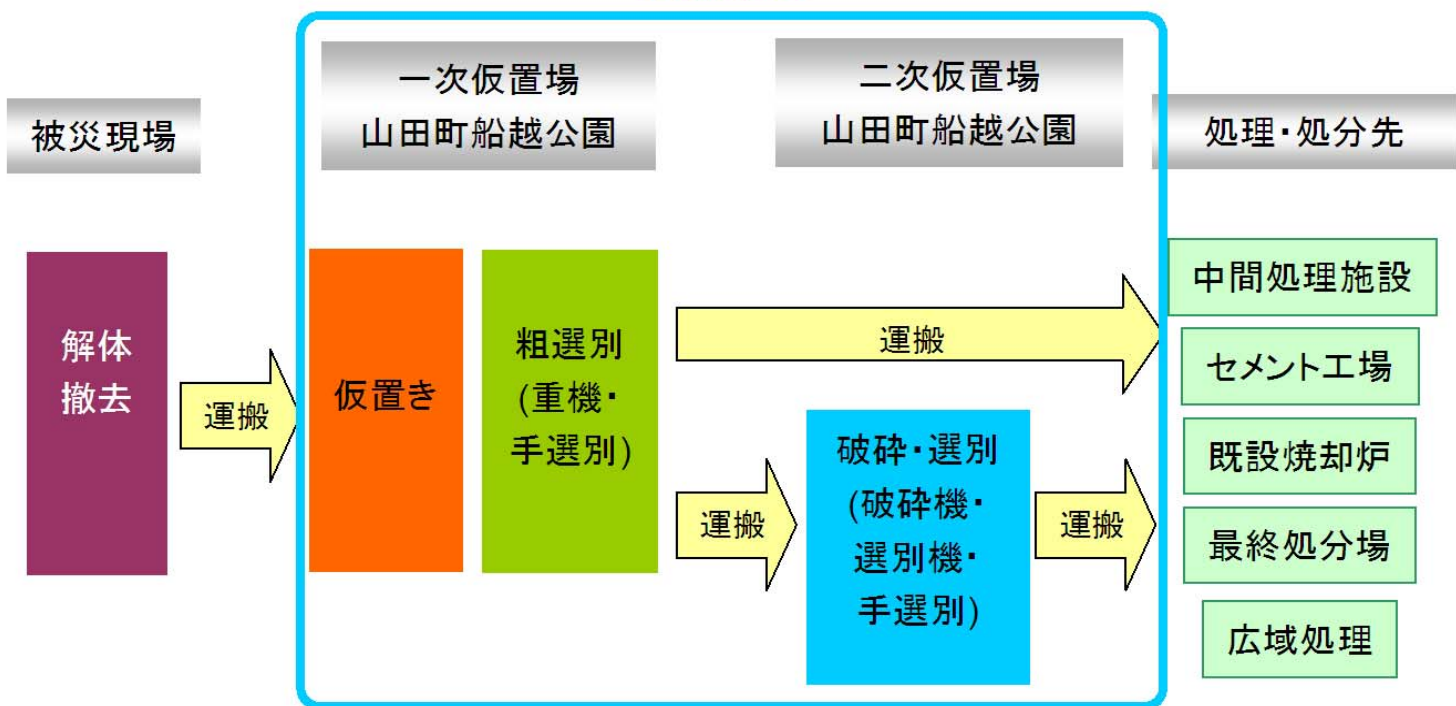


図2. 災害廃棄物の全体処理計画

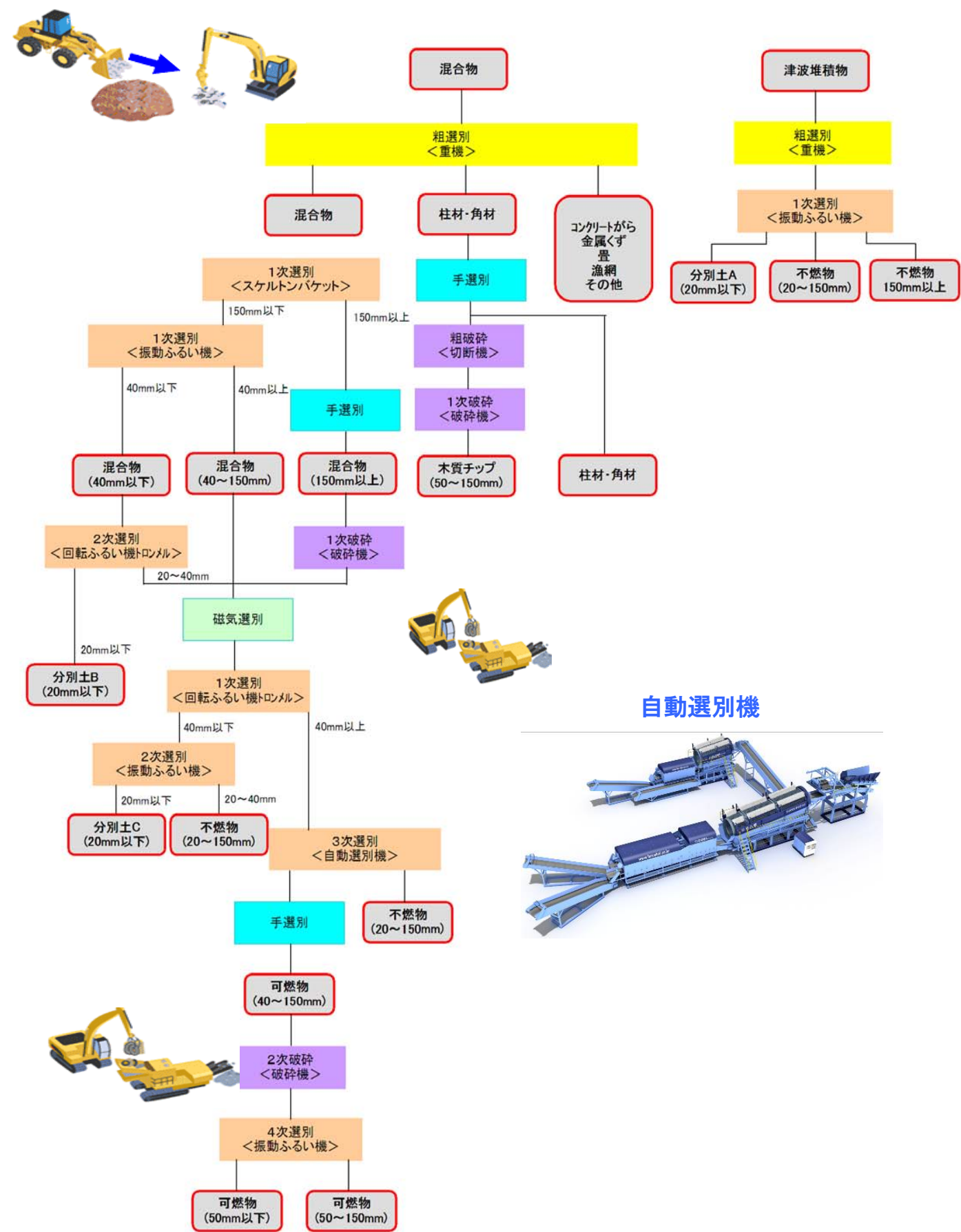
一次仮置場 粗選別作業



二次仮置場 破碎選別プラント



コンクリートガラ破碎・選別プラント



自動選別機



図3. 災害廃棄物破碎選別処理フロー



# 運 営 管 理

災害廃棄物処理においては、処理処分先が廃棄物の種類ごとに異なり、運搬量も多いことから、情報通信技術(ICT)を活用した運営管理を行います。

企業体独自の「災害廃棄物統合管理システム」を開発し、管理業務の効率化を図っています。

『災害廃棄物統合管理システム』では、下記の情報をポータルサイトで一元管理しています。

- ①ダンプトラック等運搬車両の運行管理 (GPS携帯端末)
- ②重機の作業実績管理 (車載器と連動)
- ③災害廃棄物の重量管理 (トラックスケールと連動)
- ④電子マニフェスト管理

## ②作業重機の作業実績管理



図4. 統合管理システムの概要

# 環 境 へ の 配 慮

## 騒音、粉塵の防止

仮囲いと舗装、大型テントによって騒音、粉塵を防止します。

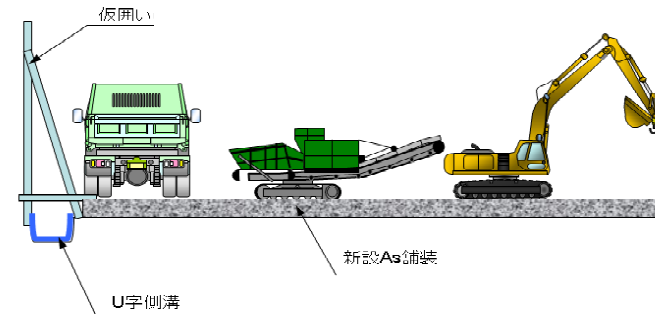


図6. 仮置場のAs舗装と仮囲い設置



図7. 破砕選別プラントへのテント設置

## 火災の防止

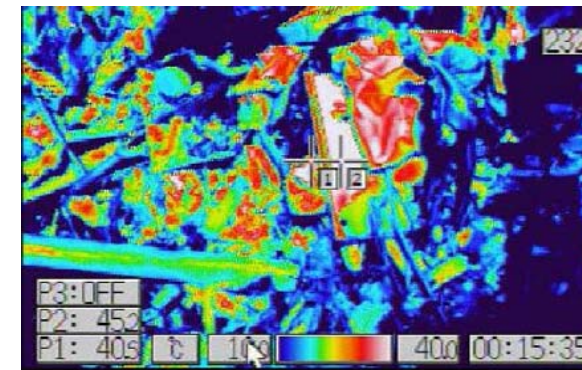


図8. サーモグラフィーによる温度測定



図9. ガス検知器による有害ガスの測定

## 環境モニタリング項目(日常管理)

測定項目	調査内容	調査頻度	備考	
日常管理項目	① 粉じん	デジタル粉じん計による測定	2回/日	一次/二次仮置場
	② 臭気	ポータブル臭いセンサー等による測定	1回/日	一次/二次仮置場
	③ 騒音	デジタル騒音計による測定	1回/日	一次/二次仮置場
	④ 硫化水素	ガス検知器による測定	1回/日	一次/二次仮置場
	⑤ 一酸化炭素	ガス検知器による測定	1回/日	一次/二次仮置場
	⑥ 放射線量	放射線量計による測定	1回/日	一次/二次仮置場
公定法分析項目	大気質	アスベスト 「アスベストモニタリングマニュアル」 「東日本大震災におけるアスベスト大気濃度調査」等に基づく方法	4回/年	—

種類ごと、運搬先ごと、運搬元ごと、期間ごとの廃棄物運搬量を、一目で管理することが出来ます。

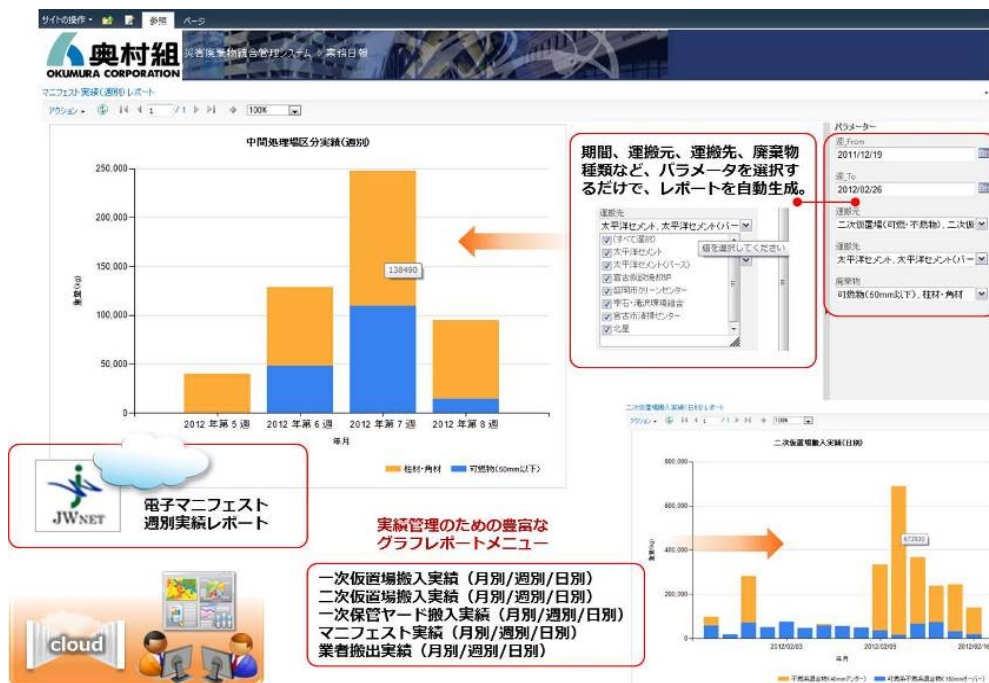


図5. 統合管理システムポータルサイト